

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

第103号

令和7年9月
発行

まなぼら



Contents

特集

まずは自分から！日々の暮らしの中にさりげない防災の視点を
元気人

小野放課後子ども教室コーディネーター 藤井 節子さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 『つなげよう』生涯学習の祭典を開催しました！
- 第16回「社会を明るくする運動」「青少年の被害・非行防止運動」スピーチコンテストを開催しました！

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- ワークキャンプを開催しました！
- 夏休み親子福祉体験教室を開催しました！

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- 報告 センター主催講座『防府市の取り組み まちをよくする仕組みづくり』

まずは自分から！

日々の暮らしの中にさりげない防災の視点を

自助

一人ひとりが自ら取組むこと

防府市総括地域防災マネージャー八尾さんが考える『備えない防災』

→ 『普段から意識せずに備える防災』



知らない土地に行く時は…

- ・避難場所を確認しておく。
- ・宿泊場所の避難経路や非常口を確認しておく。
- ・薬など必要なものの予備をある程度持参するようにする。
- ・どこにどんな放送局、ラジオ局があるのか下調べをする。



自然災害だけが災害ではありません。例えば、タンクローリーが倒れて危険物が漏れ出した場合、避難が必要となってきます。

人為的な災害を含め、予想される災害を想定した行動がとれるように心がけましょう。



私たちができるちょっとした備え

- ・玄関の鍵にライトをつける。
- ・モバイルバッテリーを常備する。
- ・貴重品は2階以上で保管する。
- ・職場等のロッカーに備蓄品や着替えを入れておく。



共助

ご近所同士が一緒に取組むこと

『共助』で心がけたいこと…『地域のコミュニケーション』

自分の家の周りにどんな方が住んでいるか、皆さんはご存じですか？

災害が起きた時は、自分の家族だけでなく、ご近所同士の安否確認も必要になります。普段から、家の周りに住んでいる方とコミュニケーションをとり、お互いに助け合える環境を整えておくことが大切です。

住民が自主的に結成する“自主防災組織”

合言葉は、「自分たちのまちは自分たちで守る」

自主防災組織とは、地域住民の連携により結成される防災組織のことです。災害発生時に被害を少なくするため、訓練などを含めた防災活動を行います。

自主防災活動に対する補助金

自主防災組織で行う防災訓練や講演等に係る経費には補助金制度があります。

活動例 段ボールベッドの組み立て訓練



避難所で必要になるベッドの組み立てを体験しておくことで、もしもの時に行動できる人が増え、スムーズに組み立てることができます！

補助金情報は
市 HP をご覧
ください。



皆さんは、災害を「非日常的な出来事」と思っていませんか。6月22日（日）に行われた生涯学習都市宣言25周年記念『学ぼう』特別講演会において、（一社）レベルフリーの代表であり気象防災アドバイザーでもある坂本京子さんから、「災害への備えを、日常的な出来事として捉えること」の重要性が語られました。キーワードは『備えない防災』。これは、非常時のために特別な準備をするだけでなく、日々の生活に防災の視点やアイデアを自然に取り入れる考え方です。

今号では、この講演会を踏まえて防府市総括地域防災マネージャーの八尾さんにお話をお聞きし、自助・共助・公助の3つの視点から、私たち一人ひとりができる具体的な工夫や取組みをご紹介します。

0次の備え

いつもケータイ！

『非常持ち出し品』として備えるものの中から、携帯ができそうなもの。

- ☐ 飲料水
- ☐ 携帯食
- ☐ ホイッスル
- ☐ 懐中電灯（予備電池・電源も）
- ☐ 携帯ラジオ（予備電池も）
- ☐ 携帯電話（充電器・バッテリーも）
- ☐ 連絡メモ・備えリスト
- ☐ 身分証明書（そのコピー）

1次の備え

非常持ち出し品

とっさの時に、さっと持ち出して逃げられるコンパクトな1バッグ。

- ☐ 筆記用具（メモ帳とペン）
- ☐ 現金（10円硬貨含む）
- ☐ 救急用品セット
- ☐ 持病薬・常備薬・お薬手帳
- ☐ マスク（不織布、布）
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ ティッシュペーパー・トイレットペーパー
- ☐ 使い捨てカイロ

2次の備え

安心ストック

何日間かは自給自足してしのげる物品を備蓄しよう。

- ☐ ハンカチ（大判）・手ぬぐい
- ☐ 安全ピン
- ☐ ポリ袋
- ☐ 雨具
- ☐ ふろしき



出典：阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター

公助

国や自治体などが取組むこと

防災情報や避難所の詳細は市HPをご覧ください。



防災情報の提供

メールサービス 事前に登録されたアドレスに気象情報や避難情報を配信します。

防災行政無線テレホンサービス 指定の番号に電話をかけると防災行政無線の放送内容を聞けます。

緊急告知防災ラジオ 防災行政無線の放送を自動受信して放送します。（費用負担：2,000円/台）

※一定の要件を満たす方には無償で配布できる場合があります。

災害時の避難所設置

避難場所…一時的な避難先 **避難所**…しばらく滞在できる避難先

区分	説明
自主避難場所	避難指示等による避難所開設の前に自分の判断で前もって避難できる場所
指定緊急避難場所	緊急を要する場合に身の安全を守る場所（災害事象別に指定）
指定避難所	一定期間避難生活をする場所
福祉避難所	介護などが必要で、通常の避難所では対応が難しい方が避難生活をする場所

【問合せ】市防災危機管理課 TEL (0835) 25-2115



藤井 Fujii Setsuko 節子 さん

小野放課後子ども教室コーディネーター

『水曜クラブ』の名前で親しまれている小野放課後子ども教室には、現在、4～6年生 10 名が在籍しています。今回は、同教室のコーディネーターとして企画や調整、活動の管理をされている藤井節子さんにお話を伺いました。

Q 放課後子ども教室の活動を始められたきっかけを教えてください。

中学校教員として在職中は地域とあまり関わらず仕事を続けてきたので、退職後は何か地域への恩返しをしたいと思っていたところに「放課後子ども教室の推進員になりませんか」と声をかけていただいたことがきっかけです。私の 2 人のこどもたちは地域に育てていただいたという感謝の思いもあり、推進員をお引き受けしました。活動に携わるようになってから 2 年後の平成 29 年、役員の交代時にコーディネーターに推薦していただき、現在まで続けています。

Q 活動において大切にされていること、心がけておられることは何ですか？

こどもたちだけでなく、自分たち大人も“楽しい”と思える気持ちを大事にしています。農家の方、老人クラブや公民館の俳句、茶道などのサークルの方たちにも積極的に関わっていただき、地域の力を生かして様々な体験や交流活動ができるよう心がけています。



Q こどもたちに対してどのような思いを持っておられますか？

記憶に残るような感動体験をたくさんしてほしいと思っています。わくわくして楽しかったことばかりでなく、悔しかったり、苦労したり、痛い思いをしたりしたことなど、全ての経験が将来、何らかの形で必ず役に立つはずです。

Q これからの活動で取組んでいきたいことはありますか？

佐波川や周辺の山々、田畑が広がる豊かな自然と、こどもたちを大切に温かく見守る大人たちの思い、そういった小野地域の持つ力をこれまで以上に生かした取組をしていきたいと考えており、放課後子ども教室の活動が、地域全体の活性化に繋がれば嬉しいです。

Q お元気の秘訣をお聞かせください。

一番の秘訣は、何でもよく食べることです。また、普段から佐波川周辺をランニングしたり、右田ヶ岳や矢筈ヶ岳などの身近な山に登ったり、無理のないペースで身体を動かしています。

これからも体力維持に努め、自分自身が楽しみながら活動していきたいと思っています。

防府市生涯学習課



『つなげよう』生涯学習の祭典を開催しました！

防府市が生涯学習都市宣言 25 周年を迎えることを記念して、7 月 19 日（土）、20 日（日）に『つなげよう』生涯学習の祭典が防府市スポーツセンター（ソルトアリーナ防府）で開催されました。2 日間で延べ 1,846 名が参加され、小さなお子さんから高齢の方まで幅広い年代の多くの方で賑わいました。

全国ものづくり塾、山口ものづくり塾による『10 周年記念ものづくりフェア』では、円形木琴やい草の小物入れなど自然素材を使ったものづくりにこどもたちが夢中で取り組みました。また、茶道や版画、南京玉すだれ、神楽の『伝統文化体験』コーナーでは、大人もこどもも楽しみながら日本古来の技芸や芸能に触れていました。木工クラフトやパネル展示などを通して森林や水の役割や大切さを学ぶ『佐波川流域の絆・森と水と人づくりフェア』にも多くの親子が来場されました。

指導者バンク登録講師による『夏季学ぼうやセミナー』は、竹細工やステンシル、デコアートなどのものづくりのほか、古代文字やフォークダンスなどの体験、がんの知識や仕事、平和継承に関する学びの講座など全 18 講座が開講され、来場者の方々に様々な学びの楽しさを知っていただく機会となりました。

会場には、市内の幼稚園児や保育園児の作品展示、全国ものづくり塾のご縁でご参加いただいた熊本県長洲町の金魚すくいコーナーもあり、祭典を彩っていただきました。



第16回「社会を明るくする運動」「青少年の被害・非行防止運動」スピーチコンテストを開催しました！

7 月 26 日（土）、防府市創業・交流センター（デザインプラザ H O F U）で第 16 回「社会を明るくする運動」「青少年の被害・非行防止運動」スピーチコンテストが開催されました。市内中学校の代表生徒 10 名が、普段の生活の中での体験などを通して犯罪や非行問題について考えたことや感じたことを、自らの言葉で力強く発表しました。

審査の結果、「あなたがいるからわたしがいる」の題でスピーチをした大道中学校 3 年の村田玲奈さんが最優秀賞に選ばれました。





ワークキャンプを開催しました！

8月4日（月）、8月8日（金）にワークキャンプを開催し、特別養護老人ホーム『岸津苑』へ中学生3名、障害児入所施設『はなのうら』へ福祉科の高校生3名の合計6名の方が参加されました。

この体験は、ボランティア活動を通して思いやり・助け合いの気持ちを育むことを目的に、中学生・高校生を対象に、夏休み期間を利用して開催しています。

実際に体験した学生はこんなことを...



高校生

入所の方が皆さん明るく、ニコニコされていたので楽しく体験することができました。
福祉関係の学科ですが、食事介助などの学校では体験できない体験をすることができました。

日頃から、誰に対しても優しい気持ちで接したいと思いました。
高齢者の施設と聞くとあまり活動的でない人が多いかなと思っていましたが、実際は明るい方が多く、話しやすかったです。



中学生

福祉について学んでいる学生から福祉についての知識がない学生まで、いろいろな捉え方で勉強をすることができました。実際に体験することで、情報だけでは知ることができないことまで学ぶことができます。来年も開催予定ですので是非ご参加ください！



夏休み親子福祉体験教室を開催しました！

8月18日（月）に『夏休み親子福祉体験教室』を開催しました。20組のご応募があり、抽選で選ばれた10組の親子が参加してくださいました。車椅子で展望回廊を回ったり、手首に重りなどを付ける高齢者疑似体験キットを着用した状態で買い物をしたりと、実際に起こりうることの体験を通して、福祉の大切さを学んでもらうことができました。



保護者の感想

仕事の関係で普段子どもと接する時間が少ないため、子どもとの時間を過ごしながらか体験することができたのが嬉しかったです。

児童の感想

体が重く、動きづらい状態で生活をしている高齢者の大変さや、車椅子は補助がないと大変なことに気づいた。困っている人や大変そうな人がいたら手助けをしてあげたいと思いました。





報告

センター主催講座

『防府市の取り組み まちをよくする仕組みづくり』

みなさんは、防府市が行っている“まちづくり”について興味はありますか？

8月3日（日）に開催した『防府市の取り組み まちをよくする仕組みづくり』では、市民活動団体や市内高校生と一緒に、防府市の財政状況や防府市が行っているまちづくり事業について市役所の担当者から話を聞きました。



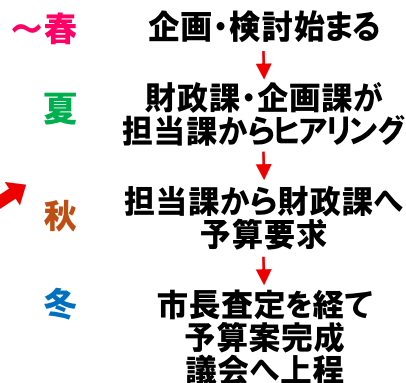
“まちづくり”のイメージって？

初めに、“まちづくり”に対するそれぞれのイメージを書き出しました。「高齢化と共に衰退」「人口増」「まちの全ての人が快適にすごせるような活動をする事」「こどもたちに遊びの場所をつくる」など、さまざまな意見が出てきました。

市の財政事情

市の予算は、“収入と支出の見積り”であり、“みんなで「税金の使い方を決める」ための仕組み”です。予算は市長が予算案を作成し、市議会（市民の代表）の議決を経て成立しますが、その企画・検討は予算が執行される1年前の春頃から始まっているそうです…！

今このくらいの時期



第5次防府市総合計画『輝き！ほうふプラン』

皆さんは、防府市総合計画をご覧になったことはありますか？この計画は、防府市における“最上位計画”で、2021年から2025年までに実施する計画が書き記されているものです。

重要目標達成指標（KGI）として、“人口の維持”と“若者（15歳～24歳）の転出超過人数を半減”が掲げられており、この目標は防府市にとって一番大切な目標となっています！この5年間の計画に掲げられている事業は、「かならずやる！」という市長の強い思いがこもっているそうです。

“まちづくり”を知ることで見えてくるもの

「私たちが住んでいるまちは、今後どのように変化していくのか？」「市が行う事業と今団体として活動している事業はどのような関係性があるのか？」という視点でこれからを見つめてほしいと思い、市民活動支援センターでは今回の講座を開催しました。こうした講座を通して、“まずは知ること”の大切さが伝わると嬉しいです。



information

時 間 場 所 内 容 対 象 人 定 員 ￥ 参加費 持 持 参 物 申 申 込 込 問 問 合 せ

10/5 (日) 県民活動フェスタ2025in防府・天神まちかどフェスタ2025と協働開催 ほうふ市民活動フェスタ2025を開催します

時 10:00～14:30

内 市民活動団体紹介の展示、工作などのワークショップ、手作り小物やお菓子・遊休品の販売、ステージ発表、企業の社会貢献活動の紹介、県民活動を応援する相談会など内容盛りだくさん！お子さんが楽しめる緑日コーナーもあります。

場 ルルサス防府 防府市地域協働支援センター2階、1階わっしょい広場、防府駅前であいの広場、駅前広場

対 どなたでも

問 市市民活動支援センター
TEL (0835) 38-4422



市民活動フェスタ
2025
詳細はこちら



県民活動フェスタ
2025in 防府の
詳細はこちら

10/10 (金) 防府市文化センター短期講座 「ふるさと散策（迫戸・宮市編）」

時 9:00～12:00

内 山頭火ふるさと館（集合）→らんかん橋→円筒分水工→白石家住宅→山頭火ふるさと館
講師：市文化振興課 鞆 雅子さん

対 どなたでも **人** 20名（先着順） **￥** 無料

持 筆記用具、水筒、タオル、帽子

申 9月1日（月）～9月17日（水）まで

問 ルルサス文化センター

TEL (0835) 28-7006（火曜日休館）

随時 受付 ボランティアのための施設 ボランティアコーナー

時 平日の9:00～16:00

※土・日・祝日・年末年始を除く

場 防府市役所 福祉棟2階

￥ 利用料無料

内 ボランティア活動や、話し合いなどをする際の作業場としてお使いください

対 市社協でボランティア登録されている団体、個人
ご利用の際は市社会福祉協議会へご連絡ください

問 市社会福祉協議会

地域福祉係 TEL (0835) 22-3907



10/24 (金) 令和7年度 防府市人権学習講演会

時 13:30～15:00

場 アスピラート3階 音楽ホール

内 演題：「“助けて”と言えるまちに
—災害と人権を考える—」

講師：特定非営利活動法人

日本ファーストエイドソサエティ

代表理事 岡野谷 純 さん

対 どなたでも **人** 300名 **￥** 無料 **申** 不要

問 生涯学習課 人権学習室

TEL (0835) 25-2962

編 集 後 記

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は6月・9月・12月・3月です。

運転免許を取得してから初めての夏が来て行動範囲がとてまくなりました。学生時代は部活動中心の生活だったので休日は行ったことのない場所へ足を運んでみようと思います。(O)

暑さが続く中、みなさんはどうお過ごしですか？熱中症にならないためにも、水分補給はかせないで、水筒を持ち歩くようにしています。(Y)

大雨によって真夏の暑さから秋のような涼しさを感じる日がありました。この機を逃さず、生い茂っていた雑草を抜き、木の枝も伐採！家の周りがすっきり。またしばらく大丈夫そうです。(F)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-8501

防府市寿町 7-1

防府市役所 本館 8階

(0835)25-2922

(0835)23-3011

shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

〒747-8501

防府市寿町 7-1

防府市役所 福祉棟 2階

(0835)22-3907

(0835)25-1388

fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035

防府市栄町 1丁目 5-1

笑顔満開通り ルルサス防府 2階

(0835)38-4422

(0835)24-7733

shimin@hofu-saport.org

